

学科名	建築・デザイン学科						
科目名	造形材料演習						
科目区分	専門科目	単位数	4	開講時期	2年次後期		
必修・選択の別	デザインコース:必修科目、建築工学コース:選択科目、建築コース:選択科目						
担当者	松本誠一						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・材料の性質を理解できる。(D1) ・プラスチックの性質を理解できる。(D1) ・造形材料の加工技術を理解できる。(D1) ・造形材料を加工して制作することができる。(D1) 						
日程と内容	<p>第1回: 導入講義 授業の概要と進め方 成績評価の方法 第2回: 木材の性質1 企画・図面作成 第3回: 木材の性質2 木材の加工1 (板取り・切断) 第4回: 木材の加工2 (切断・接着) 第5回: 木材の加工3 (接着・仕上げ) 第6回: アクリル板の性質 企画・図面作成 第7回: アクリル板の加工1 (板取り・切断) 第8回: アクリル板の加工2 (接着・研磨) 第9回: 注型アクリルの性質 注型用型の企画・図面作成 第10回: 型制作1 (板取り・切断) 第11回: 型制作2 (切断・接着) 第12回: アクリル注型1 第13回: アクリル注型2 第14回: 真空成形の原理と真空成形(型取り) 第15回: 真空成形(型取り)プレゼンテーション ポートフォリオ提出</p>						
成績評価基準	定期試験	80%	実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション	20%			
	課題		計	100%			
	演習						
授業到達目標の達成度	欠席するなどして一部の作業工程が遅れた学生は、時間外の空いている時間を使って作業をこなすなどして追いつき、到達目標を達成した。その努力を怠った学生は授業を放棄した。						
反省点	1 全員が揃ってのプレゼンテーションを行いたい。各学生の進捗状況が異なるので、今年度は出来上がった学生から順番に行う、さみだれ式のプレゼンテーションになってしまった。2 図面の精度が低い。図面作成の講義を行う必要があった。						
来年度の計画	授業の内容は今年度と同等とする。その上で、1 全員が揃ってのプレゼンテーションを行う。2 図面の精度を上げる。						
授業評価アンケートに対するコメント	取り上げるべき授業評価での学生のコメントはなかった。設問14の評価は7.8。						
履修登録者数	26名	定期試験 受験者数	22名	合格者数	22名	合格率	100%